

かせん

# 河川

千葉県を流れる河川は、

主なものでだけで200以

上、長さを合わせると約

1,600キロメートルあります。

震災では、100か所

以上の堤防などが被害を

受けました。

とねがわていぼう

## 利根川堤防の

きんぎゆうふつきゆう

## 緊急復旧

千葉県を流れる、流域

面積日本一の川、利根川。

利根川は古くから洪水

の被害が多く、「暴れ川」

とも呼ばれています。

この利根川の堤防では、  
全体の約14パーセント（千葉県  
側16.7キロメートル、茨城  
県側10.9キロメートル）が



左：緊急災害復旧工事後 右：地割れが起きた堤防（利根川下流河川事務所提供）

被害を受けました。

いま、大雨になれば、

大洪水がおこるかもしれ

ない

地元建設企業は、震災

直後の3月13日から、

緊急パトロールや情報収

集活動、そして災害復旧

工事に取り組みました。

地元建設企業の中には、

会社の建物が倒壊したと

ころもありましたが、

「自社よりも地域の安全

を優先に」という思いで

取り組み、緊急復旧工事

は、約1か月で完了しま

した。

さわら ほうかい

## 佐原の崩壊を食い

と どぼくこうじ

## 止めた土木工事

香取市佐原地区は、江

戸時代から利根川の水運

で栄えた商家町で、大切

に保存されてきた町並み

があります。

震災では、まちの

中心部を流れる「小野

川」という川の護岸が崩

れ、しかも、余震のたび

に、少しずつ土地全体が

横ずれするようになって

しまいました。

そこで、地元の企業は、

横ずれをくいとめるため、  
「鋼矢板」という、15

ナメほどの長さの鋼鉄の板  
を川の両岸に沿って打ち  
込む工事を行いました。

これにより、横ずれは  
見事にストップし、佐原  
の町並みの崩壊を食い止  
め、地域の人もほっと  
安心することができまし  
た。



ひだり あのがわごがんやいたう ここうじ  
左：小野川護岸矢板打ち込み工事のようす



みぎ しんさいちよくこ かとりしていきょう  
右：震災直後（香取市提供）